

大いなる飛躍へ

JJA 上川中央



目指せ!!
日本一

北海道蘭越町



目指せ!!
日本一

北海

目
日



目指
日本

祝！準グランプリ
星 秀隆さん(愛別町愛別)
第1回「米-1グランプリinらんこし」

2017

NO.117

12

発行・上川中央農業協同組合
愛別町本町125
Tel(01658)6-5315
URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>
編集・営農部営農振興課



上川管内の農畜産物の美味しさを一般消費者へ広くPR JAグループかみかわ農業祭2017

11月12日、旭川地場産業振興センター（道の駅あさひかわ）にてJAグループかみかわ農業祭2017（主催：上川地区農協組合長会）が開催されました。JA上川地区青年部・女性協議会合同事業ということもあり、当JAにおいても青年部・女性部部員とともに出店協力し、フライドポテト・サイコロステーキ・きのこ汁・加工品（そば乾麺・カレー・シチュー）を販売しました。

バター作り・精米体験と、昨年に引き続き当JA女性部愛別支部の昔農深雪さんを講師に、稲わらリース作りのワーク



ショップや、かみかわ産農作物の詰め放題など様々なイベントを実施し、大変好評をいただきました。

さらに今年はイベントのひとつでもあるスペシャルライブも実施され、第1部ではホクレンバンドと旭川市出身でシンガーソングライターの児玉梨奈さん、第2部では上青協有志による農家バンドと今回MCを務めていただいたHBCラジオ・カーナビラジオ午後一番！でおなじみのYASUさん率いるブラックビートルズのライブで盛り上がりました。



愛別町産きのこPRを 第14回北海道きのこ品評会および第6回北海道きのこフェスティバル開催

11月6日、札幌中央卸売市場において第14回北海道きのこ品評会が開催されました。この品評会は全道各地で栽培されているきのこの栽培技術の向上と消費者の皆様へ道内で栽培されているきのこをもっと知っていただくよう開催されているものです。

翌7日には札幌市（チカホ）において第6回北海道きのこフェスティバルが開催され、愛別町産きのこを求めるお客様も多かったですが、さらに多くの人に求めていただけるようPRしてきました。

品評会の結果は次のとおりです。

◎最優秀賞

○林野庁長官賞

農事組合法人タッグ（まいたけ）

○北海道知事賞 農事組合法人下伏古菌茸生産組合（なめこ）

○日本特用林産振興会長賞 （株）矢部きのこ園（まいたけ）





北海道から、ニッポンの米を。

上川地区予選で当JAが最優秀賞！ ゆめぴりかコンテスト2017

11月14日、上川農業会館において「ゆめぴりかコンテスト2017」の上川地区予選が開催されました。上川地区ゆめぴりか生産販売連絡協議会が主催し、上川管内12JAが参加し、地元米穀店やすし店などの同業組合、道立総合研究機構上川農業試験場などの7名が「香り」や「つや」を評価、見事最優秀賞を獲得しました。

11月21日には、札幌グランドホテルにおいて全道大会が開催されましたが、惜しくも最高金賞受賞とはなりません。しかし、愛別町産米の美味しさをアピールすることができました。



祝！準グランプリ 第7回「米-1グランプリinらんこし」決勝大会

11月18日、蘭越町山村開発センターにおいて第7回「米-1グランプリinらんこし」の決勝大会が開催されました。決勝大会では予選審査を勝ち進んだ星秀隆さん（愛別町愛別）が出演、審査方法は16名による産地などを隠すブラインド方式で味や香りを審査。「日本一美味しいグランプリ米」を競い合いました。

星さんを含め最終審査に残った6品が初めて全て道内産となり、見事準グランプリを獲得することができました。





学ぼう！作ろう！道産牛肉 小学校6年生料理事業

10月31日に上川小学校、11月1日に愛別小学校において北海道産牛肉食育授業が行われました。北海道産牛肉消費拡大強化実行委員会が主催して行われているもので、地元産の牛肉を使って食を学ぶため道内の学校で実施されています。

料理研究家の東海林明子さんの指導により、ステーキサラダ・北海道産牛汁を児童が作り、北海道産牛肉消費拡大強化実行委員会の方が作ったトマト



風味カレーの3品を美味しくいただきました。

上川小学校ではグリーンサポートの藤田さん・愛別小学校では久米牧場の久米さんが「エサは何を食べているのか？」などの質問に丁寧に答えていました。



両町産の農畜産物PR コープさっぽろ豊穰祭

10月28～29日、コープさっぽろソシア店において豊穰祭が開催されました。

馬鈴薯・きのこの販売のほか、ふかし芋・きのこ汁の試食の販促催事に参加しました。

また、今年から大雪高原牛がコープさっぽろの飼料



用米を給与した牛肉の商品ブランド「黄金そだちの大雪高原牛」としてリニューアル販売開始されています。ソシア店・ルーシー店で大雪高原牛牛肉祭りが開催されてステーキ肉がガンガン売れました。

今後も催事を通じて上川・愛別町産の農畜産物のPRをしていきます。



平成29年度JA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会

11月9～10日、札幌パークホテルにて平成29年度JA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会が道内JA女性部員約550名が集まり開催され、当女性部からも5名が参加しました。

講演では、東京大学大学院教授鈴木宣弘氏が「TPP後の日本農業と食の安全～これからのJA女性組織の役割～」と題し、輸入農畜産物は安全性に懸念があるとし「日本の農産物は買いたたかれています。

(生産者やスーパー、消費者ら)みんなが適正価格で良いと思える仕組みを女性のネットワークで広げてほしい」と話しました。

家の光大会では、「家の光記事活用体験発表・表彰式」や家の光持ち寄り読書会、対話型研修会「手作り工夫展」が開催され、当女性部からも家の光記事活用作品や手芸品を出展、全道からは約250作品が集まり、参加者は作り方を教え合いながら交流を深めました。



食を支える盟友(とも)とともに、未来(あす)へ継ぐ北の大地 平成29年度上川地区JA青年部大会

11月15日、旭川トヨーホテルにおいて、平成29年度上川地区JA青年部大会が開催され、愛別支部部員8名、上川支部部員5名が参加しました。

「動画で発信！農の魅力」コンテスト(1分間CMコンクール)は、地域と農業を広くPRする目的として、単組ごとに1分間の動画を作成し発表。愛別支部・上川支部それぞれ1点応募し、農の魅力を存分に伝えてきました。

青年の主張発表大会では、『私が農業をしている理由』と題して阪本航大君(上川支部)が発表。「純農boy上川オーディション」には大野真治君(愛別支部)・岸田一希君(上川支部)、「アームレスリング大会」には力自慢の岡田恭平君(愛別支部)・辰田裕亮君(上川支部)が出演し、会場を沸かせてきました。



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

【北大との連携協定を締結】



JAグループ北海道と北海道大学は、食と農を中心とする幅広い分野の科学技術・学術及び産業の振興、教育の発展を目的とした包括連携協定を締結しました。

農業・農村を取り巻く様々な課題に対応するため、北海道大学と共に、先端技術を活用した農業生産、道産農畜産物の価値創出、地域社会づくりや人材育成などの面で連携・協力関係を築きながら「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現を目指します。



JA北海道信連

JAバンク北海道は、家族や周囲の人へ伝えたいことを書き残す「エンディングノート」のセミナーを初開催しました。（10月・札幌市）

行政書士の山根氏が相続・遺言の仕組み等を解説後「エンディングノートは遺言書を作る準備にもなる」とJAバンク版エンディングノート



「いまから帳」の書き方を紹介し活用を呼びかけ、「大変参考になった」等、参加者にご好評いただきました。



ホクレン



北海道の味覚を一堂に集めた毎年恒例秋のイベント「2017第



46回ホクレン大収穫祭」を札幌三越本館で開催しました。生産者の方の営農へのこだわりを消費者に知っていただくとともに、消費者の方がどんなことを生産者に望んでいるかを知りあう場として、交流イベント「食と農のふれあい広場」を開催。JA道青協、JA道女性協の役員の皆様のご協力もあり、どのイベントも大盛況でした。

JA共済連北海道

10月より、地域貢献活動の一環として組合員や地域住民の皆さまにJA共済のロゴ入り反射材付き帽子5万個を配布しています。夜間でも運転者が歩行者を視認しやすくすることを目的に全道JAを通じて順次配布し、交通事故未然防止と根絶を呼びかけます。

今後も組合員や地域住民の皆さまが安心・安全に暮らせるよう、地域貢献活動に取り組んでまいります。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので是非ご一読ください。



するーらいふ「陽水ライブもどり道」

道東根室の街へは三度ほど出掛けた。半島突端の納沙付岬を目指すのである。片道6~7時間の道のりである。最初にドライブを思い立った日に、道中の気分転換のため1枚のCDを北見市で買い求めた。この時を含めてその後何度も、このCDのメロディーを流しながら運転をしている。このCDは、曲の間に語りかけがある実況ライブ盤であった。

運転中のため、熱中して楽しむ環境ではなかった。しかし、なぜかその語りの部分が気に掛かっていた。それは1973年(昭和48年)厚生年金会館小ホールでの実況ライブ盤だった。「陽水ライブもどり道」井上陽水が脚光を浴びて間もない頃の作品群だった。



勿論アフロヘアの彼がケースの飾りになっていた。実はこのライブ盤には、彼の直筆による「うれしいの年表」と直筆の歌詞表がセットされていたことを最近知った。運転中に気になっていたライブの時の語りを、居間でひとり聞いた。彼が示した年表を目で追いながら、沈んだ声で聴衆に静かに語り掛ける様子を思い浮かべた。「人生が二度あれば」の曲を初めて父が褒めたことを語っていた。

福岡で歯科医を開業していた父達の英才教育を受けた子供少年時代。父が嫌った音楽への傾倒が始まった青年時代。歯学部受験への3度の挫折。ただ彼は、束縛を解かれた浪人時代をばら色だったと語っている。ライブでの彼の話は、父の死に至る経過へと続く。

井上陽水の父は四国高知の山間の出身だった。歯科医師などに恵まれない村だった。軍医を経て歯科医を開業し、男子に恵まれて跡継ぎに育つことを夢見ていたのだろう。しかし、子供は親の思い通りには育たなかった。晩年父は、歯科の開業医を閉じて四国高知の故郷の村に帰った。その3日後、父は心臓の痛みを訴えつつ、それでも安堵した平和な顔で逝ってしまった。泣き入りそうな声で井上陽水は聴衆に語り続けた。父は今年二月で六十五、顔のシワはふえてゆくばかり、仕事に追われこのごろやっとゆとりが出来た、父の湯飲み茶碗は欠けている、それにお茶を入れて飲んでいる、湯飲みに写る自分の顔をじっと見ている、人生が二度あれば、この人生が二度あれば。この後歌詞は母を誦い、最後に父母の情景を詠んでいる。父は自分が描いた人生模様にはならなかったことをどのように思っていたのだろう。しかし父は、父として子供の仕事をしっかり見つめていた。

親と子が、人生は一度切りのものであると言うことを共有した瞬間だったのかも知れない。44年前のライブでの語りだった。その後の活躍は数多くの作品と共に、現在まで続いている。

パズル? 頭の体操



タテのカギ

- 2人組はコンビ、3人組は――
- 親同士がいとこです
- ――に変われば赤くなる
- 「おはよう」とか「さようなら」とか
- コロンブスはインドを目指して――を続けました
- カカオ豆から作る飲み物
- サンタクロースが乗ったそりを引きます
- ブーケともいいます
- 太陽が泣くとやってくる
- 進化の反対語
- 人の言葉をまねるのがうまい鳥。――返しに答える

ヨコのカギ

- 大みそかには――そばを食べる人も多い
- 英語ではドラゴン。想像上の生き物です
- 物を燃やすと残るもの
- 鶏の頭の赤い冠
- 何度も練習して、ようやく――をつかんだ
- 「山!」「川!」
- 現在よりも前です
- 庭に撒りたがる犬もいます
- デジタルカメラには装填(そうてん)しません
- 少年剣士たちが振る物
- 月曜と水曜の間
- お子様ランチに立てられていることも
- 狩りにも使われる鳥

パズル? 頭の体操

先月号の
答え



解答

A B C D E F
コ ハ ル ビ ヨ リ

JAのあゆみ

11月

- 1日 JA青年部愛別支部 例会
- 6日 上川地区農協監事協議会道内視察研修(～8日)
- 7日 JA青年部・女性部愛別支部 合同役員会
- 9日 定例企画会議
- 9日 JA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会(札幌市)～10日
- 12日 JAグループかみかわ農業祭2017
- 14日 愛別町野菜振興協議会 役員会
- 15日 平成29年度上川地区JA青年部大会臨時企画会議
- 20日 第10回定例理事会
- 22日 コンプライアンス研修会
- 23日 大上川神社新嘗祭
- 24日 JA内部監査室監査(営農販売課)
- 24日 JA青年部上川支部臨時総会
- 27日 JA青年部上川支部・フレッシュミズ合同収穫感謝祭
- 27日 内部監査協議会監査(営農部)～30日
- 28日 上川町そば生産部会 道外取引先訪問(～30日)
- 29日 平成29年度農協座談会(愛別地区)平成29年度農協座談会(上川地区)愛別町農業青色申告会講演会・慰労会(～30日)

組合員のうごき

(平成29年10月26日現在)

| | |
|--------|--------|
| 正組合員戸数 | 367戸 |
| 総組合員数 | 2,445名 |
| 正組合員数 | 553名 |
| うち団体数 | 34団体 |
| 准組合員数 | 1,892名 |
| うち団体数 | 66団体 |

第9回理事会

平成29年10月26日開催

- 1 報告事項
- 1 組合員の脱退について
6件の脱退について報告した。
- 2 平成29年度JA共済コンプライアンス点検結果について
点検結果について内容を報告した。
- 3 固定資産の取得およびリース資産の取得について
2件の固定資産取得および2件のリース資産の取得について報告した。
- 議事
- 1 組合員の相続について
1件の相続について承認された。
- 2 組合員の加入報告並びに組合員資格について
3件の加入について承認された。
- 3 組合員の出資減口について
1件の出資減口について承認された。
- 4 行政に対する要望・意見書について
農業政策及びまちづくり要望書について承認された。
- 5 平成29年度馬鈴薯に係る概算仮払金について
平成29年生産数量に対する概算仮払金について承認された。
- 6 長期資金の融資について
1件の融資について承認された。
- 7 理事に対する短期資金の融資について
1件の融資について承認された。

JAバンクをご利用のお客さまへ

新システムへの移行準備にともないATMなどのサービスを終日休止いたします。

休止日
1月6日(土)・7日(日)・8日(月)

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

休止するサービス

- JAバンクのATM
- JAネットバンクサービス
- コンビニ等のATM
- デビットカードサービス

JA-店舗・ATM-提携金融機関によって、お取引の扱いが異なる場合があります。詳しくは、JA窓口・ホームページなどでご確認ください。

平成29年度 年末年始

| | 縦 務 部 営 農 部 | 資 材 店 舗 精 米 所 | 金 融 部 | | 給油所 | |
|----------------------|----------------|------------------|-------------------------------|-----|-----------------|-----------------|
| | | | 窓 口 | ATM | 愛 別 | 上 川 |
| 12月23日(土) [天皇誕生日] | | | | | 8:00～ 17:00迄 | 8:00～ 18:00迄 |
| 12月24日(日) | | | | | 8:00～ 17:00迄 | 8:00～ 18:00迄 |
| 12月25日(月) | | | 通 常 業 務 | | | |
| | | | } | | | |
| 12月29日(金) | | | 通 常 業 務 | | | |
| 12月30日(土) | | | | | 8:00～ 18:00迄 | |
| 12月31日(日) [大晦日] | | | | | 8:00～ 12:00迄 | |
| 1月1日(月) [元旦] | | | | | | |
| 1月2日(火) | | | | | 9:00～ 16:00迄 | |
| 1月3日(水) | | | | | 9:00～ 16:00迄 | |
| 1月4日(木) | | | 通 常 業 務 | | | |
| 1月10日(水) | | | 新年交礼会のため全業務 16:00までとさせていただきます | | | |